

## 安全データシート

改訂日:2020年7月30日

## 1. 製品及び会社情報

化学品の名称  
会社名  
住所  
電話番号

o-クレゾール  
米山薬品工業株式会社  
大阪市中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
BC0326

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類  
健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分3  
急性毒性(経皮):区分3  
皮膚腐食性・刺激性:区分1  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分1  
生殖毒性:区分2  
特定標的臓器・全身毒性:区分1(中枢神経系、呼吸器、心血管系、  
(単回ばく露) 血液系、肝臓、腎臓、膵臓、脾臓)  
区分3(麻酔作用)  
特定標的臓器・全身毒性:区分1(中枢神経系、心血管系、血液系、  
(反復ばく露) 呼吸器、肝臓、腎臓)  
水生環境有害性 短期(急性):区分2

## ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
飲み込むと有毒  
皮膚に接触すると有毒  
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
中枢神経系、呼吸器、心血管系、血液系、肝臓、腎臓、膵臓、脾臓の障  
眠気又はめまいのおそれ  
長期又は反復ばく露による中枢神経系、心血管系、血液系、呼吸器、肝  
臓、腎臓の障害  
水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。吸入を避けること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
【応急措置】  
気分が悪い時は、直ちに医師に連絡すること。医師の診断/手当を受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。  
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。  
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。診断／手当を受けること。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

成分及び含有量

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

化学物質

o-クレゾール

CH<sub>3</sub>C<sub>6</sub>H<sub>4</sub>OH

CAS RN: 95-48-7

99%以上

化審法:(3)-499 安衛法:4-(10)-150

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに医師に連絡すること。

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

[眼]発赤、痛み、重度の熱傷。

[経口摂取]吐き気、嘔吐、腹痛、灼熱感、ショック又は虚脱。

肺水腫の症状は2～3時間経過するまで現れない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。

医師に対する特別な注意事項

医師または医師が認定した者が、適切なスプレー剤を直ちに使用することを検討する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

毒性がある。吸入、経口摂取、皮膚からの吸収により、重傷又は致命的になるおそれがある。

接触により皮膚や眼に炎症をおこすおそれがある、

火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

可燃性物質

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼／皮膚への接触や吸入を避ける。全ての着火源を取り除く。

直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない、

密閉された場所は換気する。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材／二次対策防止策

乾燥砂又は土等で流出物を吸収(液体の場合)して、化学品廃棄容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

局所排気・全体換気  
安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

飲み込まないこと。

皮膚に接触しないこと。

眼に入れないこと。

ヒューム、スプレーを吸入しないこと。

強酸化剤

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 接触回避

## 衛生対策

## 保管

## 技術的対策

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

容器及び受器を接地すること。アースを取ること。

強酸化剤から離しておくこと。

熱／火花／裸火のような着火源から離して保管すること。—禁煙。

熱／スパーク／火炎並びに静電気蓄積を避けること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

施錠して貯蔵すること。

ガラス、スチール

## 容器包装材料

## 8. 暴露防止及び保護措置

## 許容濃度

## 管理濃度

日本産業衛生学会

ACGIH

## 設備対策

5ppm

未設定

TLV-TWA 4.6ppm(20mg/m<sup>3</sup>)

この物質の貯蔵ないし取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。

ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

## 保護具

## 呼吸器の保護具

## 手の保護具

## 目の保護具

## 皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

適切な保護手袋を着用すること。

適切な眼の保護具を着用すること。

適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理状態

## 色

## 臭い

## 融点・凝固点

## 沸点、初留点及び沸騰範囲

## 可燃性

## 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

## 引火点

## 自然発火温度

## 分解温度

## pH

## 動粘性率(粘度)

## 溶解度

## n-オクタノール/水分配係数

## 蒸気圧

## 密度及び/又は相対密度

## 相対ガス密度

液体(融解時)又は固体

無色澄明

フェノールのような臭い

31℃

191℃

該当情報なし。

下限:1.4vol% (149℃)、上限:該当情報なし。

81℃(密閉式)

599℃

該当情報なし。

該当情報なし。

3.035cP(50℃), 1.562cP(75℃), 0.961cP(100℃)

25.9g/L(25℃,水)、アルコール、クロロホルム、エーテルに混和する。

log Pow=1.95

33Pa(25℃)

1.047(20/4℃)

3.7(空気=1)

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物		該当情報なし。 強酸化剤と激しく反応する。 該当情報なし。 強酸化剤。硝酸、発煙硫酸 該当情報なし。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口： 経皮： 吸入 (蒸気):	ラットを用いた経口投与試験LD50=121mg/kg(EHC 168(1995))より区分3とした。 動物を用いた経皮投与試験のLD50=620mg/kg,890mg/kg(EHC 168(1995))の低い方の値を適用し、区分3とした。 該当情報なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		ウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果「非可逆性の組織破壊」(EHC 168(1995))がみられたことから区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		動物に用いた眼刺激性試験の結果「刺激性～強度の刺激性」「永久的な角膜混濁と血管新生」(IUCLID(2000))がみられたことから区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器： 皮膚：	該当情報なし。 該当情報なし。
生殖細胞変異原性 発がん性		該当情報なし。(分類できない) EPA(1991)でCと分類されていることから、区分外とした。
生殖毒性		親動物において一般毒性影響のみられる用量で、性周期異常や次世代に側脳室拡張などがみられたことにより、区分2とした。
特定標的臓器毒性(単回暴露)		マウス・ラットの吸入ばく露で、粘液の刺激、筋収縮など、経口投与で自発運動低下、呼吸困難、死亡など、解剖検所見として、吸入ばく露では、肺浮腫、肝臓の脂肪変性、腎臓の浮腫等、経口投与では消化管の炎症、肺・肝臓・腎臓の充血などが報告されている(NITE初期リスク評価書(2007))。 以上より、区分1(中枢神経系、呼吸器、心血管系、血液系、肝臓、腎臓、膵臓、脾臓)、区分3(麻酔作用)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)		実験動物では、自発運動の低下、肺の水腫及び欠欠、心筋、肝臓、腎臓、中枢神経系の変性等の記述(CERIハザードデータ集(1998))があることから、区分1(中枢神経系、心血管系、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓)とした。 該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期 (急性): 長期 (慢性)	甲殻類(オオミジンコ)48時間のLC50=5mg/L(EHC168,1995)から区分2とした。 急速分解性であり、かつ生物蓄積性が低いことから区分外とした。
残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性		該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		3455
品名(国連輸送名)		クレゾール(固体)
国連分類		クラス6.1(副次危険8)
容器等級		II
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		153

15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律  
(化審法)

化学物質管理促進法(PRTR法)  
毒物及び劇物取締法  
労働安全衛生法

消防法  
航空法  
船舶安全法  
港則法  
海洋汚染防止法  
労働基準法

優先評価化学物質(第2条)

第1種指定化学物質(第2条)

劇物(第2条別表第2)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(第57条・施行令18条)[クレゾール, 1%以上]

名称等を通知すべき危険物及び有害物(第57条の2・施行令18条の2)[クレゾール, 0.1%以上]

作業環境評価基準(第2条別表)

第2種有機溶剤等(施行令別表6の2)

腐食性液体(第326条)

指定可燃物可燃性固体(第9条4政令別表第4)

毒物(危規則第194条)

毒物(危規則第2条)

毒物(施行規則第12条)

有害である物質(Y類)(施行令別表第1)

疾病化学物質

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)

16615の化学商品(化学工業日報社)

国際化学物質安全性カード(ICSC)

職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

The National Institute for Occupational Safety and Health(NOISH)

NIH(U.S.National Library of Medicine)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。